いわき民報
平市田町八四番地　電話一八番
編集兼発行人　已克輝子
日刊　但月曜を除く
定価一ケ月廿円　一部七十錢
発行所　社報いわき民報

健保組合續々充實

四町村でも診療所直營計畫

縣下にさきがけて

郡下各町村の國民健康保險組合のうち赤井、小名濱、山田、好間の四組合では來年度の事業として直營診療所の開設をすることに決定した、これが完成すると既に組合の診療所を設置した出人、渡邊、湯本、豊間、大浦、草野、上遠野、植田と合せて十一組合となる、うち小名濱國保組合では百万円の豫定で設計も既に成つてをり好間國保組合でも博士を所長に迎へ保健婦六名や助産婦も居て產院の設備も整い本郡の國保組合も縣下にさきがけ充實の一途をたどつている

度が協力的でないとの理由から非難され小名濱の如きは保險掛金の一時停止申合せまで遇つて將來を悲觀されていたが「組合員が結束して事務費を招へすれば良いではないか」の意見も出て再檢討の結果、直營診療所の開設運動がほうはいとして起り既設の田人國保組合では診療室醫師住宅、病室が九室まで完備し縣下第一位の内容を備え、更に植田國保組合でも博士を所長に迎へ保健婦六名や助産婦も居て產院の設備も整い本郡の國保組合も縣下にさきがけ充實の一途をたどつている

中心校主體科目決る

平女は磐女に女子商は平商合併

濱通り自治警察公安委員會

濱通り十五自治警察の方部別公安委員會は初顏合せをかねて二十一日午前九時から平署會議室に新井縣警察部長などの臨席があつて開催、今後の完全運營方法などについて懇談した

京北モーター賃上げ要求

成行を注視さる

市内大町東北モーター商會勞組（組合長佐久間昌民組合員十六名）は去る十二日石川精一郎社長宛に平均賃金日給四十六円の一倍增額を要求したが、會社側は月十八萬円の生產をあげることを條件としたならば承認するが、それが出來ぬときは承認しかねるから經營管理せよ、その場合は月額八萬円を會社側に支拂へとの回答して來たので、組合側もあくまで初志の貫徹を期し折衝をつゞけているが、石川社長不在のため停頓狀態で成行を注目されている

會能藝一平中の大掛なバザー

あすPTA總會も

平第二新制中學校では備品資金獲得のバザーを二十二日午前九時から同校に開く、出品は教員、生徒共同で日用品類に重點を置き、出品は連の説明もある、會費は不要なお各遺跡ではそれぞれ會員時代の文化についての話をきゝ、どん天でも雨でなければ決行

郡の造林對策成る

きのう平市湯殿山で大評定

郡下森林組合連絡强化協議會は二十日本市湯殿山にひらき縣山林課から村上技師、澤田縣森林組合連合會長も臨席、本年度における造林對策、森林組合の新設擴張經營、造林用苗木養成の促進等に就いて協議したが造林對策として先づ樂者に助成金交付と共に必需特配物資を給し勤奬、技術員は縣農會の斡旋を與へて森林組合に强力な協力をなさしめ、又各町村毎にあつた森林組合は經營合理化の點で二三ケ村併して連絡事務所を設置、更に林道網の整備擴充を强化する、新設事業問題は現在まで各森林組合で生產した薪炭は一應各町村農業會林配等の集荷機關に入荷したが今後は生產者の增收を期するため政府の代行機關たる地區林業に直接出荷させる、苗木問題は當面の應急對策として郡下三段歩程度の苗圃面積を本年から五町歩に擴大することになつた

僻地教育の振興會

きよう三阪村で

地方事務所教育課では山間僻地の教育の振興會を二十一日三阪村に開いたが、二十六日は入遠野村二十七日は田人村小學校に開くが、當日は校長村長並に各教育關係者の出席を求め、教育機會等の徹底普及の具体的問題に對する、對

功勞者の表彰も

役員連も敬遠にスポーツ連盟では二十三年度總會を二十二日午前十時から市公會堂日本間に開き役員敢闘功勞者の表彰を行う

心の旅路合評會

明夜本社ホールで

AMPクラブでは『心の旅路』の合評會を明十二日夜六時半より本社ホールで開催するが特に一般映畫ファンの

性病科

内科

平市鎌田町　矢吹醫院　電828

事工プンポと道水

類具
用手
繼水道と工具
管鐵と械機
鉛

平市白銀町二丁目二八八番　商店　浪藤

古墳時代の遺跡巡り

あす内郷郷土研究同志會が

内郷郷土研究同志會では本年の行事の一つとして花しい郷土の研究並に學術の研究の一助として、二十一日午前九時内郷一中校庭に集合、史談會員で研究同志會を主宰する菊池康雄君の古墳時代の文化についての話をきゝ續いて高坂の円墳を張出しに長方形の横穴古墳、大館戰跡、御台の横穴古墳、大館戰跡、御台公園の横穴古墳、小島台地の遺物散布地、板宮台地の古墳及遺物散布地の順で遺跡巡りを催し午後二時内郷家政女學校で解散するなお各遺跡ではそれぞれ會員

縣政批判の街頭演說會

濱本町選出大井川正戸縣議は十二日同町街頭で縣政批判の演說會を行う

小荷物車の收獲續く

二十日の成績

平署では二十日も七り二〇二、一〇八の兩列車の小荷物出を發つて次のような大戰果をあげた（單位㌔）

▲加工海產物類一四件四二〇▲貝類一件一〇〇▲米五九件四六九▲雜穀一件二〇〇▲大豆四五件二四〇▲ウヅラ豆一八件二六七▲栗一件四〇▲澱粉二件一二〇▲丸麥一件七〇▲小麥一件一九〇▲ガイモ一件二〇〇▲小麥粉四件六〇▲餅三件一〇〇▲木炭六件四〇〇▲バーコ一件五〇▲葉タバコ一件四〇▲バーター一件四〇▲醬油一件一〇〇▲本醬油一件四〇▲菜漬一件八〇〇▲アメ一件四〇

いわき寸言

◇東北線が强盜列車なら、常磐線はスリ列車又ヤミ列車とも申すはいやですネエ

◇人を見たら泥棒と思えーところが近頃は復員くづれは强盜というとはネ

◇少年の惡を嘆く前に社會の惡を嘆くべし

懸賞「商號名」募集

土木建築請負業『株式會社敬岡組』は時代の推運に鑑み科學的經營と高度技術主義を目標とし國家再建、鄕土復興の理念のもとに新發足することになりました、就きましては此の際新感覺をもれる「商號」の變更を決定し一般市民各位より適当なる「商號」を左記要項により募集致します

◇賞金一等千圓　二等五百圓　三等三百圓

◇株式會社を必ず附すること

◇メ切二月末日◇發表三月十日　本紙上

◇審査員　山田鰐磨氏　鈴木傳明氏（イロハ順）

平市田町七四　株式會社　敬岡組（電七五九）

昭和二十一年八月一日
（第三種郵便物認可）　昭和二十三年二月二十二日　いわき民報　（日曜日）　第五百四十七號　（二）

川前村の考古學遺跡を訪ねて

考古學者根本忠孝氏の石器土器

史蹟調査員　鈴木光四郎

永山氏宅を出發して鹿俣川に沿うて雜木林の中山内街道を北に一時間ばかり歩いた。鹿俣川のせゝらぎは美しく、ゆかしい眺めであつて新緑の頃紅葉の頃には絶好のハイキングコースであると思はれた。迫り來る春を山は待つているようであつた。給時頃根本氏宅に到着した。入口の小川のあたりには雪をのせた「ばつたり（米つき器）」が陽をあびて無心に動いて米をついていた。

内庭には水松が飾られ邸宅には正月の飾りが美しくゆかしく飾られていた。初孫の生れた喜びに金太郎の掛軸や弓矢の飾りで充分にうかがわれた。

根本忠孝氏は有名な考古學者であつてそのコレクションは誠に得がたいものと思はれた。机の上に陳列された石器土器を簡単に紹介すると、先づ石器時代のものには石棒、石劍、石刀（獨せん石（つるはし）石斧、石やり、石鏃、石匙、石錐、分銅形石斧、等があり土器時代のものとしては縄文式、弥生式、古墳時代のものとしては、勾玉、管玉、切子玉、祭器その他の土器があつた。根本氏の説明によれば香爐形土器は重要美術品の指定を受けるに足る代表的な作品であり近くその筋に鑑定を願うとの事であつた。机の上に並べられた石器、土器は正に根本氏コレクションとして日本に誇るものであると思はれるのである。

古文書としては延享二年寅永四年の下桶賣の水帳があつた。これは現今の土地台帳のようなもので貴重なる文書であり、鳥居忠政や元祿時代の式土器の破片や石じりが見出された。吾々は石じりなどを十器であるかゆうす形土器、香爐形土器、提瓶、水筒）管玉、曲玉、切子玉、祭器その他のうちには山林境界の書附があつた。根本氏は長年月にわたる考古學研究の一端をよく知る事が出來た。心のこもつた御説明をいただき午後は北五十余に在る葵中の先史時代の遺跡に向つた。根本氏附近は昔は葵里と云われ葵舎は根本氏の祖先本藩之守旁治の居館であつた。

葵中の先住民族の遺跡は一町四方の廣々とした所で耐方には川が流れ陽あたりのよい傾斜した丘である。いかにも先住民族が居をかまえたと思はれる所であつて附近の耕作された畑には今尚無數の縄文式土器の破片や石じりが見出された。吾々は石じりなどを記）

石城は仲間の希望地

呆れた浮浪人おしどり道中記

【編輯局】深刻になると人心もトゲ〳〵しくなつて來るがこれは本紙共職業安定所の窓口で拾つた浮浪人の「おしどり道中記」

諸の主人公は本籍福島縣住所不定品川旦元（二二）と同じく九州の熊本縣人立石雪雄（二〇）の二人「働いて見たい」と二十日午後同所の窓口へ尋ねて來た、浮浪人が更生の意志があるとは、失禮ながら思はれなかつたが係員も暫く希望條件を調べ始めると件の品川

「肺が惡いのか、胃いものは持てない」と病氣を披露する、「醫者に掛つたことはないが胸がズーズーと痛むので…」と腹部の上を指差す「その邊は胸許でない醫でも惡いのだろう」「呼吸の度びに妙な音がするので確かに胸が惡い」と云い張る、勿論配給停止證明など所持して居ろう筈もなく惡臭が鼻につき、就職希望は疾病らしいが肺病では駄目だと念を押されてしよんぼりしながら語る浮浪人の心境一くさ

品川が食糧豐富な田舍行きを志したのが一週間前、ふと上野驛へ出掛ける道すがら慈氣授合した同俗立石を從えて乘つた汽車が東北本線、郡山驛でたゞき出されて半ベ來たがどうせ浮浪の身ならこの邊で働いて見ようと決心した譯だつた、然し食うだけならお安いご用こゝも見込みがなければ折角出掛けて來た序だから青森まで行つて後は運まかせどんな事があろうと男一度び志を立て上野地下道を出てからは死すとも歸らず、一飯の食糧は全る處にありで更生の機會を狙つている、實際地下

この品川は大阪市關西工業學校五年中退で中等教育は經ているも「浪人しながらも心理學と哲學を勉強して見たいとそれを念願にしていたが近頃では食うこと自體で頭が一杯です」とテレ笑そう、「吾々の生活は吞氣だ、食うだけならば

積算電力計檢約致シマス

電燈メートル
電力
日多量入荷
近御一報次第參上御相談に應じます

負請所　電燈・電力工事業
藤浪電機工業
電話三八二番
白銀町

物乞いだけで結構腐腹するし行きたい處へは近距離切符の二、三円もあれば後は乘越してもらう、夜は寒ければ木片を拾つて燒火する、寄つて來る人たちから一時間一、二円頂戴すれば次の旅費は幾分、實は焚火のあたり料をいをするとお廻りの小父さんに注意されるので安く勉強します」と納得な處も見せる

石城の中は暖かで何にをしても食べて行く分には心配無用とあつて浮浪人仲間では一應希望の地としてはるばるやつて來るのだそうだ「道理で就職者も殆ないし妙な逆境の中が良く來ると思つた、櫻の四月ごろには花見がてら浮浪人の訪れも段々多くなつて來そ…」と同所係員氏のナゲキ「おゝ春は悩ましい！」

インフレの春の寒さよ

手が出ないお人形や洋品類
チユーリップ一本三十五圓

暖かい陽氣がこゝ數日續いてもう梅も咲きはじめ春の氣分が村にも街にも溢れている—

◇

春を待つものは草花だ—市内の花屋さんで調べた草花のお値段は

◇

チユーリップ、カーネーション一本三十五円◇アマリリス、一本三十円◇ヒヤシンス一本四円◇水仙一本十円◇キンセン花、一本五円◇乙女椿、一束三十円

◇

春を待つものはお人形さん—市内のウインドーに飾り立てられた日本人形、「百十円では安いわれ」などとんでもない—大黒屋洋品店で調べた◇日本人形千百円◇洋人形二百円から三百五十円

◇

春のダルマ市に備えて市内のダルマ製造屋さん四軒ではお人形に負けてなるものかと製造中、近く廣定価をつけてデビューする

◇

春を待つものは粋なハンチング？ネクタイか！—目下市内に出ているネクタイは二百五

◈診察日

結核、性病、導染病、其他一般

◈相談日

紅葉婦乳幼兒

右の診察、相談日を當分の間毎週火、木、金曜日にいたしました

平保健所

十四乃至三百五十円ハンチング四、五百円最高、二寸ごつの洋品類はでん縁にも春に浮かれても寸寺を云う人も余りない

獵友會總會

獵獵友會總會は二十一日午後一時から中學に開催、各支部推薦の狩獵獵種の改革などについて打合せた

省營トラック きよう開通式

湯本、石川間の省營トラックの開通祝賀式は二十一日午後零時から湯本區女に開催、大和田福知事を始め各關係者の出席のもと盛大に擧行した

獵本の醫 油類登錄

湯本町にある油小賣業者登錄は二十四、五二日間に行はれる

基準法安全衛生規則普及會

基準監督署では勞働基準法安全衛生規則普及會を左の日割で實施する、講師は花澤署長、矢吹安藤監督官の三氏

◎二十三日午前九時市公會堂日本圓（炭鑛勞働者）
◎二十五日午前十時植田か

新しいスタイルと安い。早いの

高評を博しております
お召に氣のお樣は所當
仕立替を。修理。
工夫考案しております
谷吹町湯本
洋藏園芙蓉所

米を盗む

十九日午前一時半頃好間村上好間共同作業所賣任者金成令作氏（五六）倉庫から米七斗五升を盗み出したものがあるが、うち一俵は運びきれないでか附近に隱置してあるのを發見した

炭車で轢死

十九日午後六時半頃磐崎村常磐炭礦鹿島簸十連補手大和俊夫君（一七）は炭車に轢かれ死亡

學校講堂◎二十七日午前十時小名濱第一小學校◎三月一日午前十時平第一小學校

農協組講演會

勝では二十三日午前十時から磐原市青年會館に農林省から講師山崎勉治氏を招き、農業協同組合設立に就いての指導者並に實施關係者その他に對しての講演會を開催する各關係者はこぞつて出席する機會を有している

ミシン

販賣・修理・部品
平二丁目　シンガー
石川商會ミシン部